



理工学専攻機能材料化学コース大学院生が
日本表面真空学会九州支部学術講演会で学生講演奨励賞を受賞

【概要】

理工学専攻機能材料化学コース博士前期課程 2 年の蓮井 悟朗さんが、令和 4 年 6 月 11 日(土)に佐賀大学本庄キャンパスで開催された 2022 年度日本表面真空学会九州支部学術講演会(九州表面・真空研究会 2022)にて学生講演奨励賞を受賞しました。

【本文】

日本表面真空学会九州支部では、毎年、九州・沖縄・山口の大学や企業で活躍する研究者による学術講演会(兼九州表面・真空研究会)を開催し、薄膜・表面における種々の新奇な現象とその応用について幅広い議論がなされています。今年で 27 回目となる 2022 年度の本学術講演会が、令和 4 年 6 月 11 日(土)に佐賀大学本庄キャンパスにて開催されました。

当日は、半導体表面、金属表面、有機分子薄膜、結晶成長、プラズマ応用薄膜成長、放射光分析、炭素系新材料、ナノ材料などを対象とした 24 件の口頭発表があり、厳正な審査のもと、優秀な研究発表を行った 5 名の学生に対して学生講演奨励賞が授与されました。

理工学専攻機能材料化学コース博士前期課程 2 年 蓮井 悟朗さんは、水面上ではペロブスカイト構造が形成されていない単分子膜を基板に移し取る過程でペロブスカイト構造が形成されること、また、基板に移し取る過程で形成されたペロブスカイト膜は表面が平滑で均一であることを発見しました。それらの研究成果を「膜累積過程で形成される表面平滑な鉛系層状ペロブスカイト膜」の講演題目で発表し、学生講演奨励賞を受賞しました。

○学生講演奨励賞(日本表面真空学会九州支部学術講演会(九州表面・真空研究会 2022))

理工学専攻機能材料化学コース 博士前期課程 2 年 蓮井 悟朗 さん

(指導教員: 大石 祐司 教授, 成田 貴行 准教授)

題 目: 膜累積過程で形成される表面平滑な鉛系層状ペロブスカイト膜

発表者: 蓮井悟朗・久保明美・江良正直・成田貴行・大石祐司

参 考: [学術講演会および受賞者リストのページ](#)



受賞した蓮井さん